

# 佐渡支部会員研修会 報告

1. 日 時：2023年7月22日（土） 10時～11時50分
2. 会 場：金井コミュニティーセンター 大会議室
3. 参加者：24名（医療5名、学校8名、公衆衛生5名、福祉6名）
4. 内 容：会員交流会

## （1）各職域における活動報告

- ・医療 佐渡総合病院 小田 和代
- ・学校健康教育 両津学校給食センター 夏井 紗野
- ・公衆衛生 佐渡市役所健康医療対策課 関東 佳奈恵
- ・福祉 介護老人保健施設 親里 出崎 加奈子



各職域の発表者が業務内容について報告を行なった。他職域の業務について詳しく学べる良い機会となった。

## （2）情報交換会

- 「JDA-DAT 研修会に参加して」 国仲学校給食センター 磯貝 知里



JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）の研修会への参加報告について発表があった。

演習①では、避難所食事状況調査票を用いて、避難所の提供食の把握と支援についてどのような情報が必要かを考えた。

演習②では1日分の提供食の写真を見て、食と栄養の観点から今後どのような支援が必要かを考えた。

- 災害対策の取組について情報交換（グループワーク）

議題 「2022年末、佐渡市で発生した大雪・停電災害の対応と課題」

（対応）・避難所の立ち上げがあり、炊き出しを市の栄養士を中心に行った。

炊き出しは学校給食センターを使用して、おにぎりや汁ものを調理した。

（課題）・災害時に給食センターを使うことや食材の運び方など、事前に共有されていなかった。

- ・栄養士会として、情報の共有が必要。災害時にどこに連絡をするのかマニュアルの整備等、「もしも」に備えた体制づくりを作っておく必要がある。

（まとめ）「地域の中の栄養士会」であることを、しっかりと認識して活動していく必要がある。栄養士同士が横のつながりを大切に、今回のような研修会を継続していきたい。

